

第3回ふるさと米子子ども読書活動推進会議議事録

大西委員

本日は、国田会長から急用の連絡がありましたので、早速議事へと移ります。

過去2回の会議を受けて、平成18年12月1日から平成19年1月5日まで市民からのパブリックコメントを募集し、2件の応募がありました。

今回の会議では、そのコメントを受けて、取り入れる部分、そうでない部分などを検討し、ビジョンをまとめていきます。

まず、頂いたコメントに目を通してください。

何かご意見はございますか？ 現在提示しているビジョン(案)についての部分も含めて、どうぞ。

三浦委員

基本的に分量を増やすだけではなくて、市としての方針をアピールするためには、今回のような明確なビジョンの策定は非常に有意義である。

学校教育の部分だけをとってもH16年に策定した『米子市の学校図書館教育』のような分量になるが、その部分を要約して今回のビジョンに盛り込んでも効果は出ないだろう。

特に実践事例集のようはものを掲載するよりは、むしろ相談窓口等の連絡先などを盛り込む方が、市民にとっても有意義ではないか。

小西委員

今、提示している案の表現が行政的な言い回しが多くわかりづらい。

「環境整備」というが、誰がどうやってという具体的なところがわからない。

三浦委員

『誰が』このビジョンに基づいて行動し、計画を推進していくのかの主体がはっきりしない。そのあたりを精査してはっきりさせなければ、責任の所在もはっきりしなくなり、事業としての評価ができない。

杉本委員

今回掲載されている項目は、今までの実践事例なのか、それとも今後新規の事業か？

大西委員

主に今までの実践事例を中心としている。

樋口委員

これから具体的に行動していくにあたって、既に活動している団体等にどういった

支援ができるのか。また、その予算的な裏づけは。

大西委員

予算的な措置は見込めない。情報提供やネットワーク作りといった支援が中心になっていくと思う。

三浦委員

確かに予算的な問題もあるが、米子市は今まで素晴らしい実践を行なってきたわけだから、今回のビジョンの策定においては、今まで眠っていた資産をきちんと活用する必要がある。

川上委員

今回のビジョンは誰に向けたものか？

大西委員

今回のビジョンについては、主に保護者に向けている。

川上委員

それならば、もう少しわかりやすい表現でないと、読んでもらえないのでは？
今の表現では、いかにも役所が作ったものという感じを受ける。

大西委員

そう思いますので、表現については、修正します。

樋口委員

米子市はいい実践を行なっているんだから、絵や図も使ってもっとわかりやすくした方がいい。

ただ、行政が作って終わりというものではない。

また、今後のスケジュールは？

大西委員

1月26日（金）に米子市立図書館協議会で承認を得、その後、おそらく2月の終わり頃になると思うが、教育委員会を経て策定することとなる。

市報・米子市HPへは、すぐに掲載し周知を行なっていく。

その他の周知の方法としては、特に予算的な措置もないので、市内の各学校、保育園、幼稚園、公民館等を中心に配布することを検討しています。

また、米子市教育委員会のHP『米子市文化・生涯学習ネット』への掲載も検討している。

もし可能であるならば、今後、実践団体や実践事例等も同HPで紹介しれいければとは考えている。

小西委員

必要であるならば、予算措置をして全戸配布等が必要でないか。

大西委員

予算的なものは、難しい。

三浦委員

中海テレビ等はどうだろうか。

大西委員

中海テレビ3chであれば、可能だと思うが、今後要検討である。

杉本委員

マスコットキャラクターなどどうだろうか。

大西委員

新規で作成することは難しいが、ヨネギーズを活用するのであれば可能かもしれない。

樋口委員

このビジョンを策定したといっても、必ずしも全員が賛同してくれるわけではないのだから、賛同してもらえない人たちに届くようにと考えなければならない。

大西委員

米子市として初めて策定するビジョンであるため、すぐに浸透するとは思えない。そのためにも、まずは学校等を通じて知っていただく必要がある。

また、既に実践をしていただいているボランティアの皆さんにも届くように、周知の方法を考えていかなければならない。

樋口委員

民間の書店に働きかけて、印刷してもらえないようにならないか。

大西委員

それは全くの不可能ではないかもしれないが、時間もかかってしまうのでは。

ただ、民間事業者についても、実践において協力が得られるように周知していく方

法を検討する必要があるだろう。

樋口委員

今回のビジョンについては、概ねこれでいいと思うが、やはり今後保護者やボランティア等の実践者が感じている希望や要望を吸い上げられるような活動にしていかなければならない。

大西委員

今回のビジョンについては、項目としては概ね原案とおりということで、表現については、もっとわかりやすいものへと改め、保護者へ簡潔に伝わるものにしたいと思う。

今まで3回の会議に出席頂き、大変ありがとうございました。